



花のつぼみが少しずつ開き、春を感じる気候になってきましたね。園でも自宅でも外をお散歩すると沢山の花々が見られるようになり、様々な花を見つけながらのお散歩は子ども共々わくわくしてしまいます。

さて、先日仕事を終えて保育園にお迎えに行くと、壁にもたれかかり、雲行きの怪しい表情をしていた長女。私の顔を見るなり飛びついてきて涙をぽろぽろ流し始めました。お友達とのやり取りの中で思いの違い？があり、先生に叱られてしまったとの事。本人的にはそのようなつもりはなかったようで心のモヤモヤが続いていたようです。まだまだ人生がスタートして5年目。思いや経緯の全てを言葉で説明するのは難しく、このような姿は日常茶飯事よくあるのだと思います。正直、親としてはそんなことでこんなに怒っているんだと思うような事もあります。でも本人は真剣でいつも一生懸命感情を露わにしています。私は職業柄どうしても「どうすればよかったのかなあ」などなど解決に向けて仲介役になってしまいがち。でも、母である私に会った途端、堪えていた涙を流し、抱っこされに来る姿を見ると、子どもにとって必要なのは仲介役の母ではなく、ただただ抱っこして涙を受け止めたり、「思いが伝わらなくて悲しかったんだね」と共感したりする安全地帯のような母なのかなと思います。その安全地帯があつてこそ、様々な困難に立ち向かい、立ち直り、再び立ち向かう事ができるのかなと思います。ん？と思う事も「そうかそうか」と聞いてとにかくぎゅーと抱きしめ、安全地帯を心掛けています。

そしていつも立ち直った後の娘に言う言葉。「ママのように大人になったら、毎日お友達とケンカする事も壁にもたれかかって泣く事もなくなっちゃうから今のうちに沢山しておきな(^^)b」…果たしてこんな育て方が合っているのかはわかりませんが、何事も経験！幼い頃から思いをぶつけあったり、心を交わす経験を沢山して、今後の人生に役立ててほしいなと思います。

毎日の育児お疲れ様です！

